

子供たちに伝えたい日本のよさ

大田区の町工場と「ボブスレー」

【大田区の町工場がもつ高い技術】

大田区には金属加工を専門とした、企業向けの製品や機械の部品を製作する多くの町工場があります。これらの町工場は、金属を削る、磨く、などの特定の加工を専門に行っており、その高度な技術は世界から高く評価されています。

【参考】極めて精密さが求められる小惑星探査機「はやぶさ」や、新幹線などの部品を製作している町工場もあります。

自分たちの技術の高さを多くの人にアピールしたい。
オリンピックの競技で使用する道具を製作したい。

これまで、ボブスレーの国際大会に出場する国産のソリがなかった。

【下町ボブスレーネットワークプロジェクト】

大田区の町工場や産業振興協会の関係者は、平成23年、ボブスレー競技用のソリを製作し、オリンピックに挑戦するプロジェクトを始めました。



「下町ボブスレー」が、冬季オリンピックに挑戦！

こうして、大田区の町工場や産業振興協会が中心となって開発した、ボブスレー競技用のソリ、「下町ボブスレー」が、2018（平成30）年に韓国の平昌（ピョンチャン）で開催される第23回オリンピック冬季競技大会への出場を目指すジャマイカボブスレー連盟のソリとして採用されることになりました。

今月のテーマ —世界に誇る技術の結集—

ボブスレーには、たくさんの金属製の部品が使われており、高性能のボブスレーを製作するには、様々な加工技術が必要となります。

一つの町工場だけで作り上げるのではなく、
多くの町工場の技術を結集して製作しています。

【加工技術のネットワーク】

大田区は一つの地域に高度な加工技術をもった町工場が集まっています。そのため、様々な加工技術が盛り込まれる製品でも、町工場から町工場へとつないでいき、地域内で高度な技術が必要となる高性能・高品質の製品を製作することができます。

ボブスレーで使用する多くの部品が、^{せっさく}切削→^{たんぞう}鍛造→^{ようせつ}溶接などのように、町工場同士の加工技術のネットワークを生かして製作されています。



◆ ^{せっさく}切削
硬い刃で金属を削り、形にします。



◆ ^{たんぞう}鍛造
高温で熱した金属をたたいて形にします。



◆ ^{ようせつ}溶接
できあがった部品同士をつなげていきます。



加工技術の結集

高度な加工技術をもつ町工場のネットワークを活用して製作された「下町ボブスレー」は、海外でも注目を集めています。

皆さんの身近にも、様々な技術をもった工場があります。
ぜひ訪ねてみてください。

【参考】ボブスレー

前方にハンドル、後方にブレーキを備えた競技用のソリで、金属製のフレームの周囲を、軽く強い炭素繊維強化プラスチック等で覆っています。

ボブスレー競技は1924（大正13）年に開催された第1回オリンピック冬季競技大会から正式種目になっている伝統あるスポーツで、氷で造られたコースを最高時速130km以上で滑り降り、タイムを競います。

東京都指定史跡の紹介

【尾崎遺跡（おさきいせき）】

練馬区立春日小学校の建設の際に、旧石器時代（約3万年前頃）から江戸時代までの遺跡が発掘されました。

この遺跡からは、底のとがった縄文時代の土器などの他、火おこしをするために使った平安時代の「火きり臼」など、大変珍しい道具が発掘されています。

これらの資料は、石神井川中流域における原始、古代の重要な遺跡として、埋め戻して保存されています。

学校内にある「春日小学校尾崎遺跡資料展示室」では、発掘された出土品を現在の道具と並べて展示するなど、どのようなことに使われていたかが分かるようになっています。



尾崎遺跡で発掘された
様々な土器

このほかにも、都内には多くの史跡があります。皆さんも、自分の学校の周りの史跡を探してみてください。

『春日小学校尾崎遺跡資料展示室』

- 所在地 練馬区春日町5-12-1
- 入場料 無料
- 交通機関 西武池袋線「豊島園駅」下車徒歩約10分



特色ある取組

【都立田園調布特別支援学校】

作業学習・組立手芸班



「くるみボタン」
布などで包んで
装飾したボタン

和服体験

地域の講師の方から、和服の生地や着物と帯の合わせ方について教えていただきました。さらに、実際に和服を着る体験をしました。



初めて和服を
着せてもらい
ました。

「くるみボタン」づくり

色や柄の合わせ方を教えていただき、和柄の生地を使った「くるみボタン」を作成しました。



交流活動で来校し
た外国の方も一緒
に体験しました。

日本の伝統的な色使いや、生地について学習し、日本の伝統・文化の良さへの理解を深めています。

伝統・文化に関するイベント等

★都立中央図書館

○ 企画展示

「東京の鉄道史—鉄道が築いた都市、東京—」

【期間】平成28年3月21日（月・祝）
まで開催中

【場所】4階企画展示室（入場無料）

【内容】

東京の発展と鉄道との関わりを当館所蔵の図書、地図、雑誌等の資料やパネルで紹介し



ます。あわせて、インターネット上でも話題になった、東京の地下鉄を色水が流れる管で再現した3次元模型「東京動脈」も展示します。詳細は、都立図書館ホームページを御覧ください。

○ 室内ミニ展示

「半えりと根付～着物の名脇役～」

【期間】平成28年3月4日（金）
から4月6日（水）まで

【場所】3階人文・科学系資料・閲覧室

【内容】

暖かな春が日々近づいてきました。お花見、散策…過ごしやすい気候に、おめかししてのそぞろ歩きも楽しい頃です。

着物には、折々の季節を取り入れた意匠が多く見られます。首元を彩る半えりと、帯の間にちらりと揺れる根付は、ほんの小さな存在ですが、それだけに、粋な感性がきらりと光って、着物姿を引き立たせます。季節の移り変わりを閉じ込めたような美の技を、所蔵資料で御紹介します。

○ 美術展関連・棚展示

「2015年展覧会カタログ」

【期間】平成28年3月4日（金）
から4月6日（水）まで

【場所】3階人文科学系資料・閲覧室
美術情報コーナー

【内容】

都立中央図書館では、展覧会の図録（カタログ）を積極的に収集しています。展覧会の図録は、カラーの美しい画像を楽しむ資料であるとともに、最新の研究成果を反映した価値ある資料です。昨年中に国内で開かれた展覧会の各図録から、選りすぐりを展示します。

○ 2020年へ向けての応援シリーズミニ展「ドイツ」

【期間】平成28年4月6日（水）
まで開催中

【場所】3階人文・科学系資料・閲覧室入口

【内容】

ドイツ連邦共和国は、哲学、音楽をはじめとする古くからの思想や文化で知られています。また、サッカーや自動車などでも有名です。ニーチェやゲーテ、ブラームス、ベートーヴェンなど、数多のドイツの偉人たちが残した叡智や作品は、現代の日本人にも豊かな知恵と感銘を与えてくれます。遠いようで身近な国・ドイツの、文化、芸術、歴史などを御紹介します。

※ 本資料に対する御意見・感想や、本資料の活用実践等がありましたら以下担当へ御連絡ください。今後の資料作成の参考にさせていただきたいと考えております。

【担当】東京都教育庁指導部指導企画課

電話 03-5320-6869
ファクシミリ 03-5388-1733